

# 第67期中間報告書

平成24年11月1日から平成25年4月30日まで



**ナニフ株式会社**

株主の皆様には、平素より格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当中間期のわが国経済は、所謂アベノミクス効果や復興需要、更には消費税増税前の駆け込み需要などで一部に明るい兆しが見られるようになってまいりました。一方世界経済におきましても全世界的な金融緩和の下支えなどにより、低成長ながら緩やかに回復しつつあります。

こうした状況のもと、当社では日本はもとより世界に向けても鋭意新規顧客開拓に努めるとともに、国内外を問わずに展開できる製品の開発を進めてまいりました。

その結果、セグメント毎に差はあるものの全体としては前中間期と比べ増収増益で終えることができました。

また、当中間配当は前中間期と同額の8円とさせていただきます。

今後につきましては、顧客の生産性向上に寄与できる製品、新機能を有する製品などを開発し提供し続けていくことで、売上げと利益の増大を図ってまいります。

尚、中国山東省平度市に建設中の耐塗可精細化工（青島）有限公司につきましては、今年の秋口より順次工場を稼働させる予定です。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



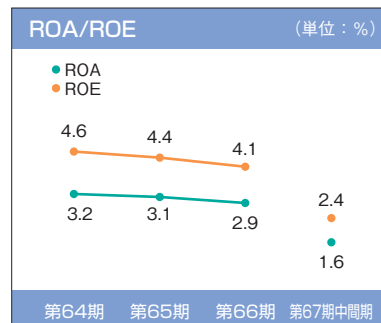
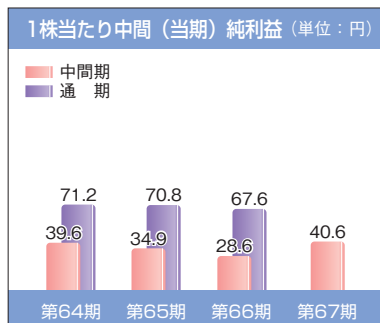
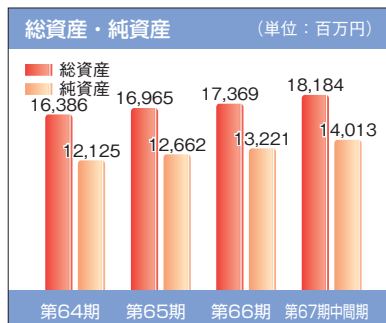
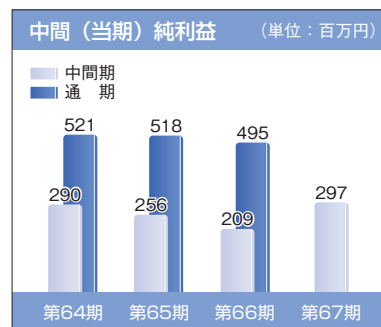
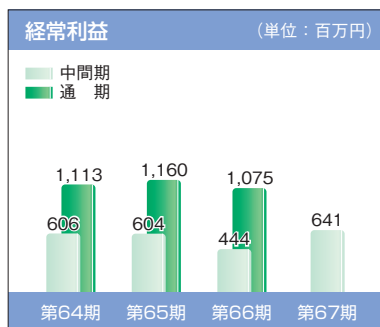
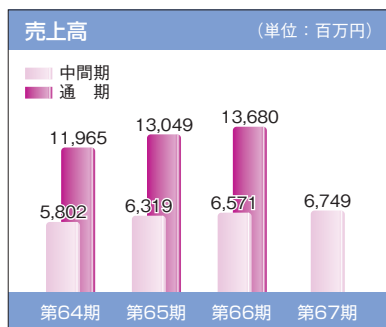
代表取締役社長 粕谷 健次

平成25年7月

# 当社グループの事業

塗料事業	<p>合成樹脂塗料・シンナー等 … 当社及び耐塗可塗料化工（青島）有限公司で製造し、直接又は特約代理店を通じて販売しております。また、巴興業(株)は一般シンナー類に加え廃溶剤を精製して再生シンナーを製造販売しております。</p> <p>塗料関連製品 …………… 当社で仕入、直接又は特約代理店を通じて販売しております。</p>
ファインケミカル事業	<p>高機能性樹脂・各種機能性微粒子等 … 当社及び耐塗可塗料化工（青島）有限公司で製造し、直接又は特約代理店を通じて販売しております。</p>
産業廃棄物収集運搬・処理事業	<p>産業廃棄物 …………… 巴興業(株)が産業廃棄物の収集運搬及び処分をしております。</p>

# 財務ハイライト



ROA：総資産中間（当期）純利益率  
ROE：自己資本中間（当期）純利益率

# 営業の概況

## 当中間事業年度の事業の状況

当中間連結会計期間における世界経済は、米国経済は消費が堅調に推移しており回復傾向にありますが、欧州諸国については、信用不安は沈静化してきたものの、景気は依然として低迷しています状況であります。また、中国を中心とするアジア諸国の経済は、減速気味ではありますが、引き続き高い成長を維持しております。

わが国経済においては、新政権の各種経済政策への期待感から円高の是正や株価の回復が進み、企業収益や消費動向にも改善が見られ、景気回復への期待が一層高まってきております。

このような経済状況のもとで、当社グループは顧客ニーズに即した環境対応型製品や高機能製品の開発に注力し、新規顧客の獲得に向けた営業活動を積極的に展開するとともに、業務全般の効率化や生産性向上によるコスト削減に努めてまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高6,749百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益556百万円（前年同期比36.6%増）、経常利益641百万円（前年同期比44.3%増）、中間純利益297百万円（前年同期比41.9%増）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

### ①塗料事業

金属用塗料分野では、鋼製家具、道路資材関連のユーザーの需要拡大や環境対応型塗料の拡販に向けた積極的な営業活動を展開した結果、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。内装建材用塗料分野では、一部のユーザーにおける需要減の影響や無塗装のフローリング製品の増加により、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

た。外装建材用塗料分野では、窯業建材向けの需要が堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。その他の分野では、樹脂素材分野においてスマートフォン向けで採用機種が増えたことや、シンナーにおいて新規顧客獲得に向けた積極的な営業活動を展開した結果、売上高は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

その結果、塗料事業における当中間連結会計期間の売上高は5,992百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は701百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

### ②ファインケミカル事業

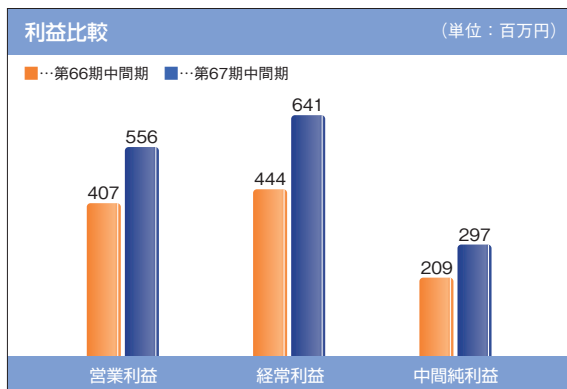
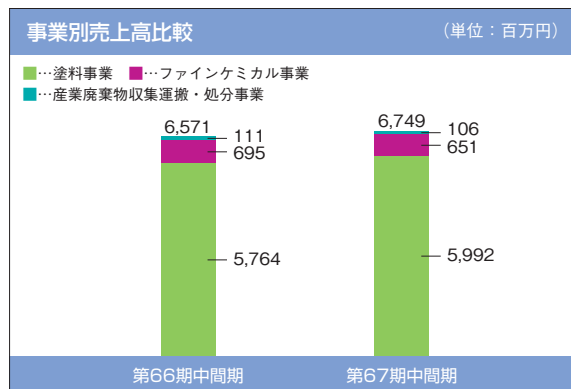
化成品におけるフィルム向けのシリコン系表面機能材料は、アジア向けの需要が堅調であったものの、光学材料向けの機能性コーティング材は液晶業界の市場低迷の影響を受け、需要が低調であったことにより、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当中間連結会計期間の売上高は651百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント利益は108百万円（前年同期比31.3%増）となりました。

### ③産業廃棄物収集運搬・処分事業

産業廃棄物収集運搬・処分におきましては、自動車産業界を始め多くの産業で生産拠点の海外移転が進んでいることで、国内生産活動は低迷し、廃棄物の取扱量が低調となったため、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、産業廃棄物収集運搬・処分事業における当中間連結会計期間の売上高は106百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益は19百万円（前年同期比8.8%増）となりました。



## 第67期中間期の開発動向

当社グループは、地球・人にやさしい環境対応型製品の開発、業界でのシェア向上に向けた差別化商品の開発、更に電子材料関連分野等で要求される高度な機能を備えた高分子材料技術・製品の開発に取り組んでおります。

### ①塗料事業

金属用塗料分野では粉体塗料の低温化、高平滑化の研究開発を進めるとともに、新たに新規架橋システムの実用化に取り組んでおります。

内装建材用塗料分野では、木質感をより強く表現できる意匠提案を行うとともに、新規内装用塗料の開発を行っております。また、海外進出する建材メーカーへの塗料、仕様提案に取り組んでおります。

外装建材用塗料分野では、高耐久性塗料や業界のニーズに沿った機能性塗料の開発及びユーザーにおけるトラブル防止仕様の確立に継続して取り組んでおります。

樹脂素材分野では従来品の機能を更にレベルアップさせた製品開発を行うとともにユーザーの求める触感、意匠の実現に取り組んでおります。

### ②ファインケミカル事業

微粒子分野においては、新規開発品のユーザーによる基礎評価が終了し、今後は製品の確立と具体的な商品化に向けての適応評価・開発を行ってまいります。

化成事業部ではアジアを中心とする新規海外ユーザーの開拓と新機能材料の展開を図っております。

### ③産業廃棄物収集運搬・処分事業

研究開発活動は行っておりません。

### ④基礎研究

基礎研究は樹脂開発、分散技術、塗装技術、色彩技術で構成されております。

樹脂開発では新規機能性ポリマーの開発を、分散技術では機能性ナノ粒子の開発を、塗装技術では高平滑塗膜の追求を、色彩技術では新規デザインの提案を行っております。

## 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは基本方針に沿い、企業活動を展開してまいります。次の経営戦略に取り組むことにより経営基盤の安定と市場の拡大に努めてまいります。

- ①顧客ニーズの変化に敏感に対応できる営業力を強化し、顧客別戦略による提案型営業を強力に推進してまいります。
- ②研究開発部門を強化し、顧客ニーズを先取りした新技術・新製品の開発に取り組んでまいります。
- ③在外子会社の販売、製造、技術の充実を図り、中国市場の拡大を推進してまいります。
- ④為替リスクを回避し、海外市場の拡大を図るために、製品の海外生産移管を推進してまいります。
- ⑤生産体制の整備、工場の生産効率の向上や原材料の統廃合による原価低減の推進により、品質の向上及び徹底したコスト削減に取り組んでまいります。
- ⑥情報システムを積極的に活用することにより、業務の効率化と顧客サービスの向上に取り組んでまいります。
- ⑦経営の監督・監視機能の強化と透明性の向上を図るため、内部統制システムを整備することによりコンプライアンスの充実を図り、信頼性の向上に努めてまいります。

# 中間連結財務諸表（要約）

## 中間連結貸借対照表

（単位：千円）

科 目	当中間連結会計期間末 (平成25年4月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成24年4月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>12,326,081</b>	<b>11,887,172</b>
現金及び預金	5,926,177	5,302,707
受取手形及び売掛金	4,178,535	4,377,431
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	972,310	858,124
仕掛品	37,770	31,862
原材料及び貯蔵品	428,665	458,739
繰延税金資産	137,100	123,592
その他	551,000	638,866
貸倒引当金	△5,480	△4,152
<b>固定資産</b>	<b>5,858,362</b>	<b>5,163,491</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>5,165,196</b>	<b>4,538,132</b>
建物及び構築物	1,998,684	2,067,932
機械装置及び運搬具	563,751	655,931
土地	1,713,470	1,713,470
その他	889,290	100,798
<b>無形固定資産</b>	<b>220,635</b>	<b>220,657</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>472,530</b>	<b>404,700</b>
投資有価証券	369,954	248,387
繰延税金資産	10,147	8,352
その他	94,502	215,390
貸倒引当金	△2,073	△67,430
<b>資産合計</b>	<b>18,184,443</b>	<b>17,050,663</b>

科 目	当中間連結会計期間末 (平成25年4月30日現在)	前中間連結会計期間末 (平成24年4月30日現在)
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>3,625,004</b>	<b>3,628,896</b>
支払手形及び買掛金	2,524,161	2,648,235
未払法人税等	283,155	176,961
賞与引当金	200,666	204,020
役員賞与引当金	15,750	16,200
その他	601,271	583,478
<b>固定負債</b>	<b>546,290</b>	<b>482,737</b>
繰延税金負債	71,519	—
退職給付引当金	73,212	78,733
役員退職慰労引当金	241,687	220,819
繰延税金負債	—	36,987
資産除去債務	—	8,891
その他	159,870	137,305
<b>負債合計</b>	<b>4,171,294</b>	<b>4,111,633</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>12,536,858</b>	<b>12,071,076</b>
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	2,288,760	2,288,760
利益剰余金	8,624,341	8,158,558
自己株式	△2,582	△2,582
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>508,258</b>	<b>59,287</b>
その他有価証券評価差額金	130,869	41,423
為替換算調整勘定	377,389	17,863
<b>少数株主持分</b>	<b>968,030</b>	<b>808,666</b>
<b>純資産合計</b>	<b>14,013,148</b>	<b>12,939,029</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,184,443</b>	<b>17,050,663</b>

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	前中間連結会計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
売上高	6,749,690	6,571,300
売上原価	4,951,817	5,017,681
売上総利益	1,797,873	1,553,618
販売費及び一般管理費	1,240,970	1,145,979
<b>営業利益</b>	<b>556,902</b>	<b>407,639</b>
営業外収益	90,472	41,354
営業外費用	6,111	4,668
<b>経常利益</b>	<b>641,262</b>	<b>444,326</b>
特別利益	186	4,590
特別損失	827	3,707
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>640,621</b>	<b>445,208</b>
法人税、住民税及び事業税	282,547	170,220
法人税等調整額	△17,119	△6,177
<b>少数株主損益調整前 中間純利益</b>	<b>375,193</b>	<b>281,165</b>
少数株主利益	77,962	71,636
<b>中間純利益</b>	<b>297,230</b>	<b>209,529</b>

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)	前中間連結会計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	635,248	187,258
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,089,653	26,794
財務活動による キャッシュ・フロー	△59,205	△59,275
現金及び現金同等物に係る 換算差額	199,770	3,858
現金及び現金同等物の 増減額	△313,840	158,636
現金及び現金同等物の 期首残高	5,244,400	4,508,062
現金及び現金同等物の 中間期末残高	4,930,560	4,666,698

# 株式の状況 (平成25年4月30日現在)

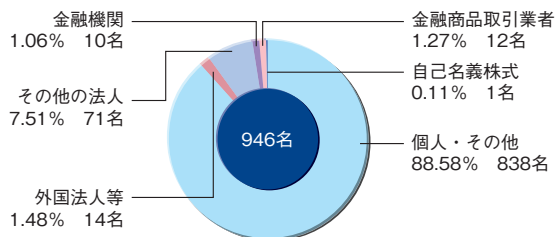
①発行可能株式総数	26,299,000株
②発行済株式の総数	7,324,800株
③株主数	946名 (前期末比84名減)

## 大株主

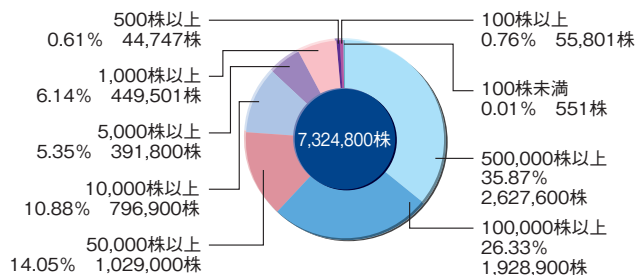
株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
有限会社巴ホールディングス	1,090,600	14.88
ナトコ共栄会	833,800	11.38
粕谷忠晴	703,200	9.60
粕谷太一	267,000	3.64
株式会社三菱東京UFJ銀行	240,000	3.27
株式会社三井住友銀行	230,000	3.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	217,700	2.97
株式会社中京銀行	210,000	2.86
粕谷英史	189,200	2.58
ナトコ従業員持株会	164,600	2.24

※持株比率は自己株式 (847株) を控除して計算しています。

## 所有者別株主分布状況



## 所有数別株式分布状況





(単位：円)

	第64期	第65期	第66期	第67期中間期
期末（中間）配当金総額	117,185,496	117,184,288	117,183,248	58,591,624
（普通株式1株につき）	16	16	16	8

## 配当政策及び配当金

当社は、株主様への利益還元を経営の重要な政策と認識し、安定配当の継続を基本方針として、業績の推移などを勘案して実施することとしております。

当中間期の利益配当金につきましては、業績等も含め総合的に勘案した結果、1株当たり8円とさせていただきます。

また、平成25年10月期の期末配当につきましても、1株当たり8円を予定しておりますので、年間配当金額合計は1株当たり16円となる見込みであります。

## 会社概要 (平成25年4月30日現在)

設立	昭和23年11月1日
資本金	16億2,634万円
従業員数	223名 (臨時従業員及びパートタイマーを除く)
主要製品	金属用塗料・内装建材用塗料・外装建材用塗料・ ファインケミカル製品
本社所在地	〒470-0213 愛知県みよし市打越町生賀山18番地 0561-32-2285

## 主要な事業所及び工場

本社/本社工場	愛知県みよし市打越町	0561-32-2285
群馬工場	群馬県みどり市笠懸町	0277-77-1703
名古屋工場	名古屋市瑞穂区二野町	052-882-7572
中央研究所	名古屋市瑞穂区二野町	052-882-7572
東部支店	さいたま市南区白幡	048-844-8461
中部支店	愛知県みよし市打越町	0561-32-9653
西部支店	大阪市淀川区三津屋南	06-6308-2824
西南部支店	福岡市博多区住吉	092-432-2811
韓国支店	大韓民国京畿道水原市八達区孝原路303 (仁溪洞)	+82-31-232-7583



## 役員状況 (平成25年4月30日現在)

代表取締役会長	粕谷 忠晴
代表取締役社長	粕谷 健次
専務取締役	川上 進
取締役	山門 祥彦
取締役	三宅 敏勝
取締役	山本 豊
取締役	粕谷 太一
常勤監査役	水野 孝
監査役	山田 靖典
監査役	脇田 政美

(注) 監査役山田靖典氏及び監査役脇田政美氏は社外監査役であります。

## ホームページのご案内

当社ではホームページにて当社の企業情報を随時開示しています。IR情報のサイトでは決算短信等がご覧いただけます。



<http://www.natoco.co.jp/>

事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	10月31日
中間配当金受領株主 確定日	4月30日
定時株主総会	毎年1月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所JASDAQスタンダード
公告の方法	日本経済新聞に掲載する

## 【ご注意】

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

